

# 決算審査特別委員会審査報告

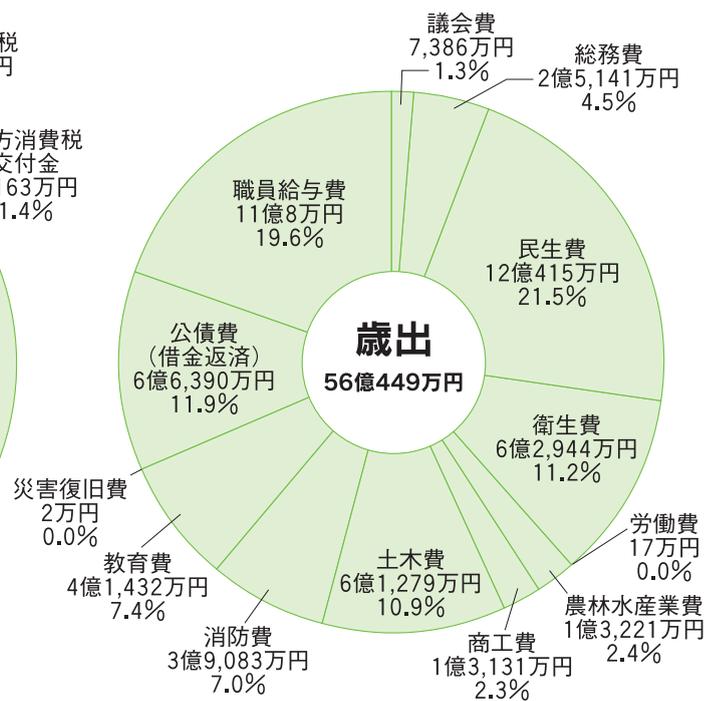
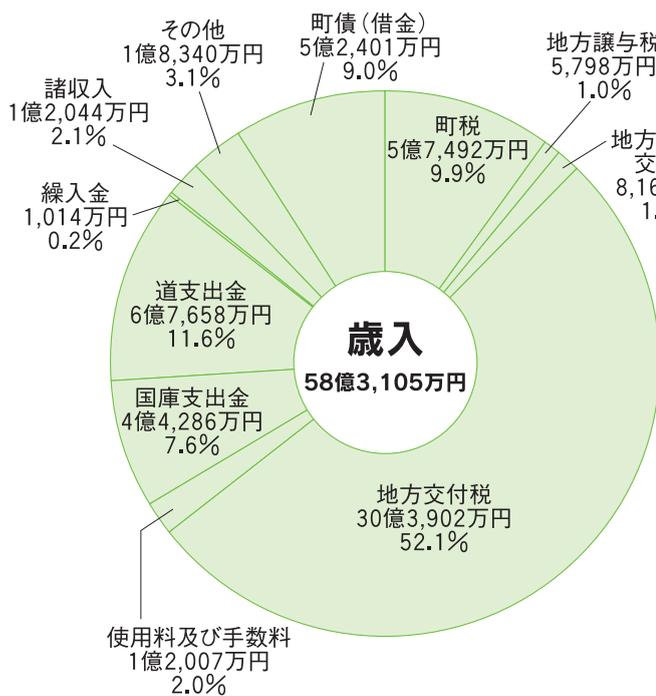
## 平成23年度各会計の決算を認定！

議長及び議会選出監査委員を除く全議員で構成する決算審査特別委員会(梶谷康介委員長)に審査付託された、平成23年度一般会計ほか各会計決算認定について、平成24年第3回定例会において審査報告があり、いずれの会計も委員長報告のとおり認定されました。

なお、5ページに審査意見を掲載しております。

### 平成23年度各会計決算額

会 計 別	歳 入	歳 出
一 般 会 計	58億3,105万円	56億449万円
国民健康保険特別会計	14億4,734万円	14億4,819万円
介護保険特別会計 (保険事業勘定)	8億4,865万円	8億2,773万円
後期高齢者医療特別会計	9,447万円	9,373万円
水道事業会計 (収益的収入及び支出)	1億8,339万円	1億7,580万円
病院事業会計 (収益的収入及び支出)	13億2,664万円	12億2,406万円



### 町の基金(貯金)と町債(借入金)の状況

基金(貯金)の平成23年度末の状況 12億2,908万円

町債(借入金)の平成23年度末残高 66億3,181万円

# 審 査 意 見

## 一 般 会 計

### 歳 入

漁業をはじめとした産業の不振や長引く景気低迷等により、自主財源の確保も益々困難を増している。

町税をはじめ保育料や住宅家賃、学校給食代金等の各般の未納者に対し、納入意識の高揚を図りながら、公正・公平性をもって収入未済額の解消に厳正に対応されたい。また、債権の管理は、関連する条例に基づき適切に対応されたい。

納税貯蓄組合においては、依然高い収納率を維持しており、人口減による組合員数の減少、高齢化による組合長など役員の後継者不足が課題となっているが、今後とも組合の体制維持や強化に努められたい。

### 歳 出

町が保有する各種データは、月1回のバックアップを行っているが、災害等により消失することのないよう適切に対応されたい。

職員の人材育成や資質向上のための研修は、必要不可欠なものであり、より積極的な取り組みを期待する。研修内容によっては、報告会を開催するなどの検討をすべきである。

公共交通は、過疎、高齢化が進む中で町民の足をどう守るのか、平成23年度の実証実験や平成24年度の試験運行を踏まえ、調査、検討されたい。

地域福祉交流センター「ゆいっこ」は、障害者と高齢者に対する福祉サービスを一体的に行う共生型として利用が図られているが、一般町民や児童が気軽に利用できる取り組み等に一層努力をし、地域福祉の拠点と

して充実を図られたい。

町民の健康を守るための各種検診は、周知徹底を図り、受診率向上に努められたい。

町有林は、腐食したものがや伐木齢が過ぎたものが相当あるので、森林資源の活用や保全に努められたい。

松前小島のアワビ種苗放流事業は、その成果について引き続き調査、検証し、今後の方向性を早急に検討すべきである。

ナマコ増殖試験事業は、一定の成果を上げているものの、種苗の確保が前年度に比べ相当減少している状況であり、事業執行に万全を期すよう努められたい。

「全国学力・学習状況調査」の当町の結果は、全道、全国の平均以下であり、学力向上対策に鋭意努められたい。

今後の小中学校の統廃合により、空き家となる教職員住宅は、公営住宅に転用

するなど、有効活用できるように検討すべきである。予算の流用は、予算の執

行上やむを得ないものとして認められているが、今後は慎重に対処されたい。



赤神でのナマコ放流作業

## 国民健康保険特別会計

特になし

## 介護保険特別会計

特になし

## 後期高齢者医療特別会計

特になし

## 水道事業会計

財政の状態は、給水人口減等により純利益が毎年減少し、単年度収支は黒字であるものの悪化している現状であり、今後の方向性などを早急に検討すべきである。

## 病院事業会計

特になし